

平成22年度財団法人紀南環境整備公社
第1回理事会・第1回評議員会合同会議
(平成22年6月19日(土)開催)

議事録

財団法人紀南環境整備公社

**平成22年度財団法人紀南環境整備公社
第1回理事会・第1回評議員会合同会議議事録**

- 1 開催の日時
平成22年6月19日（土） 午前10時00分
- 2 開催の場所
西牟婁郡上富田町朝来758-1
上富田文化会館 小ホール
- 3 出席者
別紙出席者名簿のとおり
- 4 議案
第8号議案 平成21年度財団法人紀南環境整備公社事業報告について
第9号議案 平成21年度財団法人紀南環境整備公社会計収支決算について
- 5 開会
事務局が、会議の開会を宣言した。

（開会挨拶）

真砂理事長が「開会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。役員及び評議員の皆様方におかれましては、何かとお忙しい中、ご参集をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃、当公社の運営につきまして、多大なるご支援ご協力いただいておりますことにも、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

本日の理事会・評議員会合同会議は、平成21年度の事業報告及び収支決算について、ご審議をいただくために開催をしたものでございます。

さて、公社事業につきましては、昨年、5箇所の候補地の地元住民の方々から、現地調査の同意を得ることができ、現在、調査を進めているところでございます。また、先月5月には串本町高富海域における調査につきましても、串本海中公園センターと契約を行っているところでございます。

これらの調査につきましては各候補地とも地元の方々のご協力を受けながら順調に進んでいるところでございます。

さて、今後の予定といたしましては、来年春にこれらの調査結果を踏まえ、いよいよ最終候補地を決定していくこととなります。「安全安心な施設の整備が可能」な最終処分地を選定し、処分場を建設していくためには、言うまでもなく周辺住民の方々のご理解をいただくことが重要であり、このことが公社事業を進めていく上で最も重要な課題であると考えております。

これから、事業の成否を左右する重要な局面を迎えることとなりますが、今後も紀南地方の皆様が安心して暮らしていけるよう、最終処分場建設に向けて取り組んでまいりますので、役員並びに評議員の皆様におかれましては、公社事業の進展にさらなるご協力をいただきますように、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

以上、簡単でございますが、開会の挨拶とさせていただきます。」と開会挨拶を

行った。

(新任役員等紹介)

事務局が、出席者についての説明を行い、その中で新任の保田理事、小出監事、水本評議委員の紹介を行い、保田理事が「このたび理事にご承認いただきました県環境生活部長の保田でございます。どうぞよろしくお願いを申し上げます。県といたしましても、最終処分場の建設に向けまして出来る限りのご支援ご協力をさせていただきますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。」と挨拶を行った後、水本評議員が「白浜町長の水本でございます、よろしくお願いを申し上げます。」と挨拶を行った。

(新任事務局職員紹介)

事務局が、新任の森下企画員、廣田専門員の紹介を行った。

(議長就任)

事務局が、議長選出について、理事長に議長就任を依頼したい旨提案したところ、全員異議がなかったので、理事長が議長に就任した。

(代理出席者の承認)

議長が、代理出席者の承認について諮ったところ、異議なく承認された。

(会議の成立)

議長が、出席者数の確認をしたところ、出席者は定足数を満たしていたので、会議の成立を宣言した。

(議事録署名人選任)

議長が、議事録署名人の選任について提案し、議長から指名することについて諮ったところ、全員異議なく、理事会からは森田理事、保田理事が、評議員会からは奥田評議員、小原評議員が選任された。

6 議事

(第8号議案及び第9号議案の審議)

議長が、第8号議案及び第9号議案は、関連議案なので、一括して審議する旨を述べ、議長の指示により、事務局が、両議案の詳細を一括して説明した。

次に、議長が、小出監事に対し監査報告を求めたところ「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び財団法人紀南環境整備公社寄附行為第20条第5項の規定に基づき、平成21年度財団法人紀南環境整備公社の財産並びに業務執行の状況について監査を行ったところ、監査報告書のとおり適正に処理していることをご報告申し上げます。」との報告があった。

その後、議長が、理事及び評議員に対し質問、意見を求めたが特になく、第8号議案及び第9号議案について、議長が諮ったところ、全会一致で可決、承認された。

7 閉会






議長が、以上を持って本日の議事をすべて終了した旨を述べ、事務局が閉会を宣

言した。

午前10時30分

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は、次のとおり署名押印する。

平成22年6月19日

議長	真砂 充敏	
署名人	保田 栄一	
署名人	森田 敏行	
署名人	奥田 貢	
署名人	小原 周作	

平成22年度第1回理事会・第1回評議員会合同会議出席者名簿

●役員

○理事現在数8名

○出席理事数8名（うち代理出席者2名）

役名	氏名	役職名	代理出席者等
理事長	真砂 充敏	田辺市長	
副理事長	田岡 実千年	新宮市長	生活環境課長 中地清剛
副理事長	中田 肇	田辺商工会議所会頭	専務理事 中田義和
理事	田嶋 勝正	串本町長	
理事	寺本 眞一	那智勝浦町長	
理事	森川 起安	南紀くろしお商工会会長	
理事	森田 敏行	日置川町商工会会長	
理事	保田 栄一	和歌山県環境生活部長	
監事	小出 隆道	上富田町長	
監事	瀬古 伸廣	新宮商工会議所会頭	欠席

●評議員

○評議員現在数18名

○出席評議員数13名（うち代理出席者2名）

○表決を委任した評議員数5名

氏名	役職名	代理出席者等
泉 庄治	本宮町商工会会長	
岩手 仁士	龍神村商工会会長	
植田 英明	みなべ町商工会会長	欠席（表決を岩手評議員に委任）
大和田 隆栄	北山村商工会会長	
岡本 重之	白浜町商工会会長	
奥田 貢	北山村長	
黒田 庫司	牟婁商工会会長	欠席（表決を岩手評議員に委任）
小谷 芳正	みなべ町長	
小原 周作	古座川町商工会会長	
三軒 一高	太地町長	住民福祉課長 三好通弘
須賀 節夫	串本町商工会会長	欠席（表決を小原評議員に委任）
武田 丈夫	古座川町長	
出水 豊数	中辺路町商工会会長	
長井 保夫	上富田町商工会会長	欠席（表決を岩手評議員に委任）
橋本 明彦	すさみ町長	副町長 柏木秀三
花本 健	大塔村商工会会長	欠席（表決を岩手評議員に委任）
水本 雄三	白浜町長	
森 光夫	すさみ町商工会会長	

平成22年度
第1回理事会・第1回評議員会
合同会議

議案書

平成22年6月19日（土）
財団法人紀南環境整備公社

目 次

第 8 号議案 平成 2 1 年度財団法人紀南環境整備公社事業報告について	1
第 9 号議案 平成 2 1 年度財団法人紀南環境整備公社会計収支決算について	6

第8号議案

平成21年度財団法人紀南環境整備公社事業報告について

平成21年度財団法人紀南環境整備公社事業報告については、次のとおりとする。

平成22年6月19日提出

財団法人紀南環境整備公社
理事長 真 砂 充 敏

平成21年度事業報告 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

1 事業概要

平成21年度の公社事業については、候補地5箇所から最終候補地を選定するために必要な現地調査の実施に向け、昨年度に引き続き、関係自治体と連携し、地元への働きかけを行う等取り組みを進めた。その結果、すでに調査同意を得ていた田辺市稲成町のほか、残る田辺市秋津川地区、串本町高富地区についても調査合意を得ることができた。

この結果、5箇所の候補地から最終候補地を選定すべく、平成22年1月から「最終処分場候補地選定調査」を進めているところである。

2 実施状況

(1) 広域廃棄物最終処分場整備事業

① 最終処分場候補地選定調査

5箇所の候補地から最終候補地を選定するため、各候補地の現地調査及び環境影響調査を実施し、それらを踏まえた整備基本構想案を作成し、総合的視点で各候補地を評価することを目的に「最終処分場候補地選定調査」を実施しているところである。

なお、本調査は、財団法人紀南環境整備公社最終処分場整備に係る技術アドバイザー会議の意見を反映したうえで、その過程、結果について円滑な住民合意を得ることを念頭に実施している。

■委託業者

所在地 和歌山市寄合町23番地（アセブルビル）

名称 株式会社 日建技術コンサルタント 和歌山事務所

■調査の期間

平成22年1月19日～平成23年3月31日まで

② 調査にかかる候補地周辺住民を対象とした説明会等の実施状況

候補地周辺住民、地権者等を対象に説明会や訪問による説明を行った。

地区名	開催日	備考
田辺市稲成町	平成21年10月30日(金)	役員に対する説明会
田辺市秋津川	平成21年8月5日(水)	役員に対する説明会
	平成21年8月19日(水) ～22日(土)	地元住民戸別訪問
	平成21年10月17日(土)	中村区に対する説明会
	平成22年1月30日(土)	役員に対する説明会
串本町高富	平成21年10月26日(月)	串本海中公園センターと打ち合わせ
	平成21年11月4日(水)	串本海中公園センターと打ち合わせ
	平成21年11月24日(火)	役員に対する説明会

③ アドバイザー会議委員現地確認

「最終処分場候補地選定調査」の発注内容に関するアドバイスを受けるため、現地確認を行った。

地区名	実施日	備考
田辺市稲成町	平成21年11月27日(金)	
田辺市秋津川	平成21年11月27日(金)	
串本町高富	平成21年11月28日(土)	

④ 各種調査・情報収集事業

各候補地の課題への対応や安心・安全な最終処分場を目指すため、関係機関へのヒアリング、先進地の視察等を実施した。

月日	項目	内容
平成21年7月2日(木)	クリーンパークさが (佐賀県唐津市)	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設完成後の状況等について
平成21年7月3日(金)	八女西部広域事務組合 (福岡県筑後市)	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設完成後の状況等について
平成21年10月1日(木)	独立行政法人国立環境研究所 (茨城県つくば市)	○ 最終処分場候補地選定調査について
平成21年10月2日(金)	日本環境衛生センター (神奈川県川崎市)	○ 最終処分場について
平成21年11月20日(金)	平和清掃事務所 (静岡県浜松市)	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設完成後の状況等について

⑤ 廃棄物排出処理実態の把握

- ・一般廃棄物—市町村への埋立廃棄物状況等の調査実施
- ・産業廃棄物—和歌山県が実施した実態調査の情報収集

(2) 循環型社会構築に係る普及啓発事業

① 普及啓発に関する住民学習会等の実施状況

地域内の各種団体や町内会等を対象とした住民学習会等で地域の廃棄物処理の現状や公社事業の説明を行った。(計4回、参加人数は146名)

市町村名	団体名等	開催日	参加人数
田辺市	田辺市環境美化連絡協議会	平成21年 7月31日 (金)	31名
	平成塾 (田辺市まちづくり学びあい講座)	平成21年12月 3日 (木)	20名
	神田町内会 (田辺市環境学習会)	平成22年 3月 5日 (金)	45名
	上屋敷町内会 (田辺市環境学習会)	平成22年 3月10日 (水)	50名
計		4回	146名

② 啓発リーフレットの増刷・配布

- ・啓発リーフレットを7,000部増刷し、構成団体を通じて地域内に配付した。
商工会・商工会議所会報へ折り込み配布 (会員あて)
環境学習教材として小学4年生への配付 (環境学習の一環)
市町村役場等施設への設置

③ 情報発信・情報公開

公社事業の情報発信の強化を図るとともに、廃棄物排出処理実態状況や各種会議の内容等の情報発信、公益法人としての情報公開 (ディスクロージャー) を実施した。

(3) 各種会議の開催状況

① 理事会及び評議員会等

- ・理事会を3回、評議員会を3回開催し、公社事業の進め方等について協議を行った。

	開催日	会議議題等
第1回理事会・第1回評議員会合同会議	平成21年 6月20日 (土)	○ 平成20年度事業報告について ○ 平成20年度収支決算について
第2回理事会・第2回評議員会合同会議	平成21年11月12日 (木)	○ 最終処分場候補地選定調査について ○ 平成21年度補正収支予算について ○ 事務局組織規程の一部改正について ○ 事務局決裁規程の一部改正について ○ 文書規程の一部改正について ○ 就業規程の一部改正について ○ 給与規程の一部改正について ○ 会計規程の一部改正について
第3回理事会・第3回評議員会合同会議	平成22年 3月20日 (土)	○ 平成22年度事業計画について ○ 平成22年度収支予算について

- ・9件の議題について書面による表決を行った。

議決日	会議議題等
平成21年 5月 1日 (金)	○ 財団法人紀南環境整備公社評議員の選出について

平成21年 5月25日 (月)	○ 財団法人紀南環境整備公社評議員の選出について
平成21年 5月29日 (金)	○ 財団法人紀南環境整備公社理事の選任について
平成21年 9月26日 (土)	○ 財団法人紀南環境整備公社理事の辞任に伴う後任理事の選任について
平成21年10月30日 (金)	○ 財団法人紀南環境整備公社理事の辞任に伴う後任理事の選任について
平成21年10月30日 (金)	○ 財団法人紀南環境整備公社副理事長の辞任に伴う後任副理事長の選任について
平成22年 1月19日 (火)	○ 財団法人紀南環境整備公社理事の死去に伴う後任理事の選任について
平成22年 3月 8日 (月)	○ 財団法人紀南環境整備公社評議員の選出について
平成22年 3月26日 (金)	○ 財団法人紀南環境整備公社評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について

② 企画調整会議

	開催日	会議議題等
第1回	平成22年 3月 1日 (月)	○ 平成22年度事業計画について ○ 平成22年度収支予算について

③ 拡大調整会議

	開催日	会議議題等
第1回	平成21年 6月11日 (木)	○ 平成20年度事業報告について ○ 平成20年度収支決算について ○ 広報啓発の取り組みについて ○ 一般廃棄物処理事業実態調査及び業務委託料・運営費補助金算定に伴う調査について
第2回	平成21年10月15日 (木)	○ 最終候補地選定のための調査について ○ 平成21年度補正収支予算について ○ 公社諸規程の改正について ○ 調査費・人件費等に係る予算措置について ○ 埋立処理状況等の調査結果について ○ 今後のスケジュールについて

(4) 監査の実施

平成20年度における業務ならびに会計監査を5月19日及び20日に実施した。

(5) その他

新公益法人会計基準及び公益法人制度改革への対応を研究するため、各種講習会に参加した。

月 日	項 目	内 容
平成21年 7月 9日 (木)	公益法人セミナー (大阪市)	○ 公益法人経理事務について
平成21年10月21日 (水)	新公益法人制度説明会 (和歌山市)	○ 公益法人制度改革について
平成21年11月 5日 (木) ~6日 (金)	公益法人セミナー (大阪市)	○ 公益法人経理事務について
平成22年 2月 4日 (木)	新公益法人制度説明会 (大阪市)	○ 移行申請書作成実務について
平成22年 2月19日 (金)	公益法人セミナー (和歌山市)	○ 移行申請書作成時の留意事項について
平成22年 2月26日 (金)	公益法人定例講座 (大阪市)	○ 移行後の税制のポイント解説

第9号議案

平成21年度財団法人紀南環境整備公社会計収支決算について

平成21年度財団法人紀南環境整備公社会計収支決算については、次のとおりとする。

平成22年6月19日提出

財団法人紀南環境整備公社
理事長 真砂 充 敏

収 支 計 算 書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	307,000	400,218	△ 93,218	
② 補助金等収入				
県補助金収入	6,506,000	4,155,000	2,351,000	
市町村補助金収入	38,420,000	32,753,000	5,667,000	
市町村業務受託収入	750,000	750,000	0	
③ 雑収入				
受取利息収入	8,000	637	7,363	
雑収入	1,000	0	1,000	
事業活動収入計	45,992,000	38,058,855	7,933,145	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
最終処分場整備事業費支出	5,124,000	1,395,660	3,728,340	現地調査費等
普及啓発事業費支出	649,000	369,951	279,049	リーフレット
給料手当支出	13,886,004	11,440,961	2,445,043	派遣職員4名分 (注)
法定福利費支出	3,403,996	3,401,181	2,815	派遣職員4名分 (注)
福利厚生費支出	79,000	12,956	66,044	派遣職員2名分
会議費支出	0	0	0	
旅費交通費支出	617,000	513,395	103,605	
通信運搬費支出	0	0	0	
リース料支出	107,000	106,596	404	
消耗什器備品費支出	442,800	416,942	25,858	(注)
消耗品費支出	52,000	18,035	33,965	
印刷製本費支出	0	0	0	
車両維持費支出	170,000	67,231	102,769	
委託費支出	0	0	0	
雑支出	4,200	4,200	0	(注)
事業費支出計	24,535,000	17,747,108	6,787,892	
② 管理費支出				
給料手当支出	15,758,595	15,061,642	696,953	派遣職員2名分 (注)
法定福利費支出	2,520,405	2,519,119	1,286	派遣職員2名分 (注)
福利厚生費支出	28,000	0	28,000	
会議費支出	174,000	31,800	142,200	
旅費交通費支出	557,000	442,410	114,590	理事会・評議員会等
通信運搬費支出	134,727	134,727	0	(注)
消耗什器備品費支出	0	0	0	
消耗品費支出	73,000	70,217	2,783	
印刷製本費支出	704,736	704,736	0	(注)
広告宣伝費支出	0	0	0	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
図書研修費支出	334,877	185,000	149,877	(注)
車両維持費支出	515,000	393,893	121,107	
光熱水料費支出	10,000	2,239	7,761	
賃借料支出	343,000	293,640	49,360	
リース料支出	0	0	0	
支払手数料支出	68,460	68,460	0	(注)
租税公課支出	8,200	8,200	0	(注)
支払利息支出	1,000	0	1,000	
雑支出	1,000	0	1,000	
管理費支出計	21,232,000	19,916,083	1,315,917	
事業活動支出計	45,767,000	37,663,191	8,103,809	
事業活動収支差額	225,000	395,664	△ 170,664	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
減価償却引当資産取得支出	72,000	71,715	285	
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	1,000	0	1,000	
投資活動支出計	73,000	71,715	1,285	
投資活動収支差額	△ 73,000	△ 71,715	△ 1,285	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
短期借入金収入	1,000	0	1,000	
財務活動収入計	1,000	0	1,000	
2. 財務活動支出				
短期借入金返済支出	1,000	0	1,000	
財務活動支出計	1,000	0	1,000	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	2,047,000	—	2,047,000	
当期収支差額	△ 1,895,000	323,949	△ 2,218,949	
前期繰越収支差額	6,895,000	7,036,581	△ 141,581	
次期繰越収支差額	5,000,000	7,360,530	△ 2,360,530	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金及び預り金等を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	31,493	24,603
普 通 預 金	6,404,150	6,694,573
定 期 預 金	0	0
未 収 金	3,328,000	4,688,000
前 払 金	23,390	27,491
合 計	9,787,033	11,434,667
未 払 金	2,209,742	3,545,930
預 り 金	540,710	528,207
合 計	2,750,452	4,074,137
次期繰越収支差額	7,036,581	7,360,530

3. 科目間の流用について (注)

科目間の流用については、以下のとおりである。

(単位：円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
事業費－給料手当支出	14,000,000	△ 113,996	13,886,004
事業費－法定福利費支出	3,290,000	113,996	3,403,996
事業費－消耗什器備品費支出	446,000	△ 3,200	442,800
事業費－雑支出	1,000	3,200	4,200
管理費－給料手当支出	15,850,000	△ 91,405	15,758,595
管理費－法定福利費支出	2,429,000	91,405	2,520,405
管理費－通信運搬費支出	112,000	22,727	134,727
管理費－印刷製本費支出	691,000	13,736	704,736
管理費－図書研修費支出	378,000	△ 43,123	334,877
管理費－支払手数料支出	67,000	1,460	68,460
管理費－租税公課支出	3,000	5,200	8,200

貸 借 対 照 表

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	24,603	31,493	△ 6,890
普通預金	6,694,573	6,404,150	290,423
定期預金	0	0	0
未収金	4,688,000	3,328,000	1,360,000
前払金	27,491	23,390	4,101
流動資産合計	11,434,667	9,787,033	1,647,634
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	53,770,000	53,770,000	0
基本財産合計	53,770,000	53,770,000	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	186,996	115,281	71,715
特定資産合計	186,996	115,281	71,715
(3) その他の固定資産			
什器備品	151,839	223,554	△ 71,715
その他の固定資産合計	151,839	223,554	△ 71,715
固定資産合計	54,108,835	54,108,835	0
資産合計	65,543,502	63,895,868	1,647,634
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,545,930	2,209,742	1,336,188
預り金	528,207	540,710	△ 12,503
流動負債合計	4,074,137	2,750,452	1,323,685
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	4,074,137	2,750,452	1,323,685
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
県出捐金	20,000,000	20,000,000	0
市町村出捐金	22,770,000	22,770,000	0
商工会議所・商工会出捐金	11,000,000	11,000,000	0
指定正味財産合計	53,770,000	53,770,000	0
(うち基本財産への充当額)	(53,770,000)	(53,770,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(186,996)	(115,281)	(71,715)
正味財産合計	61,469,365	61,145,416	323,949
負債及び正味財産合計	65,543,502	63,895,868	1,647,634

正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	400,218	215,843	184,375
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	0	0
③ 受取補助金等			
受取県補助金	4,155,000	3,745,000	410,000
受取市町村補助金	32,753,000	32,113,000	640,000
市町村業務受託収益	750,000	0	750,000
④ 受取寄付金			
受取寄付金	—	—	—
⑤ 雑収益			
受取利息	637	5,433	△ 4,796
雑収益	0	0	0
経常収益計	38,058,855	36,079,276	1,979,579
(2) 経常費用			
① 事業費			
最終処分場整備事業費	1,395,660	0	1,395,660
普及啓発事業費	369,951	134,400	235,551
給料手当	11,440,961	11,470,468	△ 29,507
法定福利費	3,401,181	3,269,127	132,054
福利厚生費	12,956	16,520	△ 3,564
会議費	0	0	0
旅費交通費	513,395	535,816	△ 22,421
通信運搬費	0	4,480	△ 4,480
リース料	106,596	0	106,596
消耗什器備品費	416,942	97,650	319,292
消耗品費	18,035	1,080	16,955
印刷製本費	0	0	0
車両維持費	67,231	75,911	△ 8,680
委託費	0	0	0
雑費	4,200	11,260	△ 7,060
事業費計	17,747,108	15,616,712	2,130,396
② 管理費			
給料手当	15,061,642	15,219,109	△ 157,467
法定福利費	2,519,119	2,410,863	108,256
福利厚生費	0	0	0
会議費	31,800	18,290	13,510
旅費交通費	442,410	479,120	△ 36,710
通信運搬費	134,727	336,415	△ 201,688
減価償却費	71,715	71,715	0

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消耗什器備品費	0	178,028	△ 178,028
消耗品費	70,217	65,370	4,847
印刷製本費	704,736	536,627	168,109
広告宣伝費	0	67,200	△ 67,200
図書研修費	185,000	110,875	74,125
車両維持費	393,893	225,310	168,583
光熱水料費	2,239	3,456	△ 1,217
賃借料	293,640	293,640	0
リース料	0	245,196	△ 245,196
支払手数料	68,460	62,370	6,090
租税公課	8,200	2,000	6,200
支払利息	0	0	0
雑費	0	0	0
管理費計	19,987,798	20,325,584	△ 337,786
経常費用計	37,734,906	35,942,296	1,792,610
当期経常増減額	323,949	136,980	186,969
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	323,949	136,980	186,969
一般正味財産期首残高	7,375,416	7,238,436	136,980
一般正味財産期末残高	7,699,365	7,375,416	323,949
II 指定正味財産増減の部			
① 受取負担金等			
県出捐金	—	—	—
市町村出捐金	—	—	—
商工会議所・商工会出捐金	—	—	—
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	53,770,000	53,770,000	0
指定正味財産期末残高	53,770,000	53,770,000	0
III 正味財産期末残高	61,469,365	61,145,416	323,949

財 産 目 録

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金 手許有高	24,603	
普通預金 紀南農業協同組合・本所	596,508	
普通預金 紀陽銀行・田辺支店	6,098,065	
未収金		
受取市町村補助金精算分	3,938,000	
市町村業務受託収益	750,000	
前払金		
公務災害格差是正保険料	8,390	
図書購読料	15,000	
労働災害保険料	4,101	
流動資産合計		11,434,667
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金		
みなべいなみ農業協同組合・南部出張所	10,000,000	
紀陽銀行・田辺支店	10,000,000	
近畿労働金庫・田辺支店	10,000,000	
紀南農業協同組合・本所	10,000,000	
きのくに信用金庫・田辺支店	10,000,000	
第三銀行・田辺支店	3,770,000	
基本財産合計	53,770,000	
(2) 特定資産		
減価償却引当資産 普通預金		
紀陽銀行・田辺支店	186,996	
特定資産合計	186,996	
(3) その他の固定資産		
什器備品 データプロジェクター	65,389	
什器備品 ポータブルワイヤレスアンテナ	86,450	
その他の固定資産合計	151,839	
固定資産合計		54,108,835
資産合計		65,543,502
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
(株)ジェーシービー 高速道路通行料金	15,600	
ソフトバンクテレコムパートナーズ(株) 電話料金	13,113	
給料手当・出張旅費	98,954	
(株)日建技術コンサルtant 最終候補地選定調査費H21年度分	1,000,000	
(株)紀陽銀行 インターネットFB手数料	5,355	

(単位：円)

科 目	金 額		
リコー関西(株) コピーサービス料	61,908		
和歌山県 受取県補助金精算分	2,351,000		
預り金 源泉所得税及び住民税	528,207		
流動負債合計		4,074,137	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			4,074,137
正味財産			61,469,365

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
什器備品の減価償却は、定額法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	53,770,000	0	0	53,770,000
小 計	53,770,000	0	0	53,770,000
特定資産				
減価償却引当資産	115,281	71,715	0	186,996
小 計	115,281	71,715	0	186,996
合 計	53,885,281	71,715	0	53,956,996

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	53,770,000	(53,770,000)	(0)	—
小 計	53,770,000	(53,770,000)	(0)	—
特定資産				
減価償却引当資産	186,996	(0)	(186,996)	—
小 計	186,996	(0)	(186,996)	(0)
合 計	53,956,996	(53,770,000)	(186,996)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	410,550	258,711	151,839
合 計	410,550	258,711	151,839

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
廃棄物処理施設整備等事業費補助金	和歌山県	0	4,155,000	4,155,000	0	—
紀南環境整備公社運営費補助金	田辺市	0	18,565,000	18,565,000	0	—
"	新宮市	0	3,723,000	3,723,000	0	—
"	白浜町	0	3,248,000	3,248,000	0	—

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
紀南環境整備公社運営費補助金	上富田町	0	1,408,000	1,408,000	0	—
〃	すさみ町	0	894,000	894,000	0	—
〃	串本町	0	2,668,000	2,668,000	0	—
〃	那智勝浦町	0	2,054,000	2,054,000	0	—
〃	太地町	0	6,000	6,000	0	—
〃	古座川町	0	187,000	187,000	0	—
合 計		0	36,908,000	36,908,000	0	



以上、その他の注記事項は、該当しないため省略している。

監査報告書

平成22年5月24日

財団法人紀南環境整備公社
理事長 真砂 充敏 様

財団法人紀南環境整備公社

監事 小出 隆道 
監事 瀬古 伸廣 

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び財団法人紀南環境整備公社寄附行為第20条の5の規定に基づき、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの平成21年度財団法人紀南環境整備公社の財産並びに業務執行の状況について監査したので、次のとおり報告する。

1. 監査の概要

会計監査について、会計帳簿並びに関係書類の閲覧など収支計算書及び財務諸表の正確性を検証した。

業務監査について、理事会及びその他の重要な会議に出席するほか事務局から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など業務執行の妥当性を検証した。

2. 監査の結果

- ・会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録に記載の金額と合致していると認める。
- ・収支計算書及び収支計算書に対する注記、財務諸表及び財務諸表に対する注記は、法令及び寄附行為並びに公益法人会計基準に準拠し、財産状態及び収支状況を適正に示していると認める。
- ・事業報告書は、法令及び寄附行為に従い法人の状況を正しく示していると認める。
- ・理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実は認められない。